

平成22年度当初予算

限られた財源を有効に生かして、施策の選択と集中を図り、市民サービスの向上に努めます。

一般会計	239億円	(対前年同期比1.9%増)
特別会計	120億5,610万円	(対前年同期比5.1%減)
企業会計	56億3,936万円	(対前年同期比1.7%減)
総 額	415億9,546万円	(対前年同期比0.7%減)

平成22年度の予算規模

区 分		当初予算	対前年比	
一 般 会 計		239億円	1.9%	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	58億9,157万円	△2.1	
	国 民 健 康 保 険 診 療 所	9,167万円	14.6	
	老 人 保 健	254万円	△83.8	
	後 期 高 齢 者 医 療	5億8,414万円	△2.7	
	介 護 保 険	介 護 保 険 勘 定	41億2,087万円	3.8
		介 護 サ ー ビ ス 勘 定	3,628万円	9.0
	簡 易 水 道 事 業	3億5,899万円	△1.2	
	港 湾 施 設 事 業	1,769万円	△7.4	
	土 地 取 得 造 成	1億6,857万円	△71.1	
	土 地 区 画 整 理 事 業	5,893万円	△5.9	
	住 宅 新 築 資 金 等 貸 付 事 業	1,576万円	△68.1	
	農 業 集 落 排 水 事 業	2,855万円	△11.9	
	公 共 下 水 道 事 業	6億4,929万円	△23.1	
	駐 車 場 事 業	2,293万円	△9.8	
	温 泉 事 業	514万円	△51.1	
	商 業 集 積 施 設 管 理	318万円	△0.7	
小 計		120億5,610万円	△5.1	
企 業 会 計	水 道	15億6,187万円	△16.7	
	工 業 用 水 道	5,893万円	48.5	
	病 院	40億1,856万円	5.2	
	小 計	56億3,936万円	△1.7	
合 計		415億9,546万円	△0.7	

用語解説

歳 入

地方交付税：国から大洲市に配られるお金（使いみちは市が決めることができます。）

市 税：みなさんから市に納められたお金
市 債：市が借り入れたお金

歳 出

民 生 費：主に福祉の充実のために使うお金
公 債 費：市の借入金の元金・利子などの返済に使うお金
土 木 費：道路や河川などの整備のために使うお金

民 生 費

○子ども手当を支給します。	7億9,607万円
○社会福祉協議会の運営費を支援します。	6,501万円
○愛媛県後期高齢者医療広域連合が支払う医療費に対する大洲市の負担分です。	5億6,759万円
○介護保険会計を支援します。	6億547万円
○乳幼児医療について、就学前まで助成します。	8,042万円
○市内の保育所の運営経費です。	9億6,134万円

商 工 費

○大洲藩と坂本龍馬の歴史的背景を活用した観光メニューの確立を目指します。	589万円
○企業誘致を奨励します。	3,270万円
○地域特産品の開発を支援します。	335万円
○うかい観光を支援します。	500万円

議 会 費

○議員報酬や市議会の運営経費です。	2億1,547万円
-------------------	-----------

総 務 費

○大洲市でがんばるひとを応援します。	1,000万円
○地上デジタル放送の難視聴を解消する自主共聴施設で、補助要件を満たす組合に対し、必要な経費の一部を助成します。	9,937万円
○参議院議員選挙の経費です。	3,323万円
○県知事選挙の経費です。	3,040万円

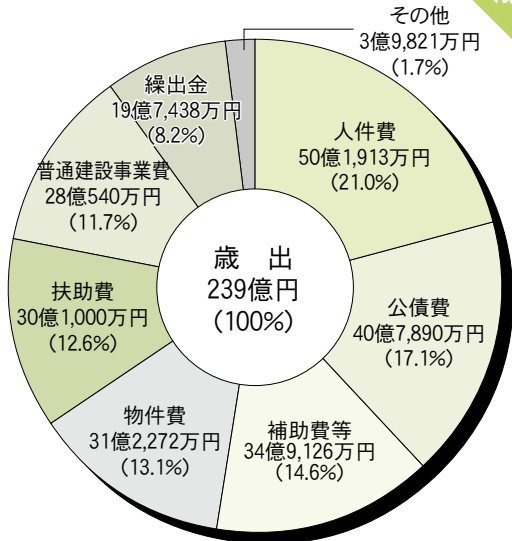
衛 生 費

○救急医療体制確保のための運営費です。	5,081万円
○簡易飲料水施設事業について補助します。	1,150万円
○合併浄化槽の設置を支援します。	4,173万円
○環境センターでのごみ処理に係る経費です。	4億251万円

平成22年度当初予算

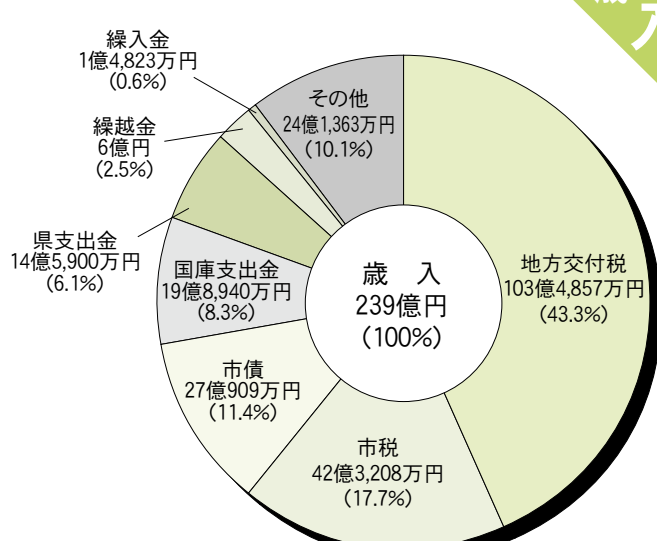
どのようなことにお金を使うか〔性質別〕

歳出

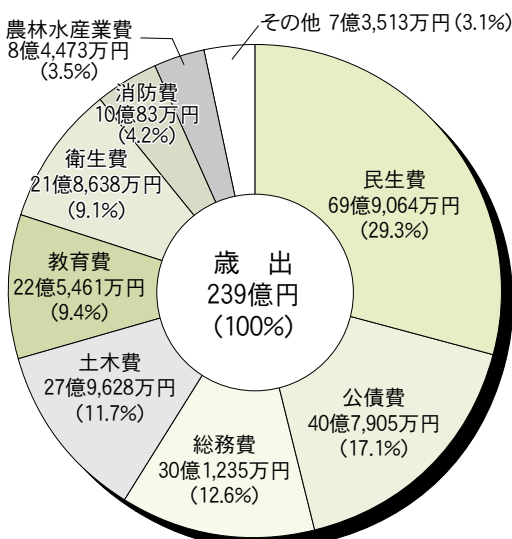


いくらお金が入ってくるか

歳入



どのような目的に対してお金を使うか〔目的別〕



地域経済・雇用情勢は低迷が続き、国の税収はこれまでになく非常に厳しい状況にあります。本市の財政状況は財政改革の取り組みにより改善方向に向かっているものの、実質公債費比率を始めとする財政指標の一部については愛媛県下の市町と比較するとまだまだ厳しい状況にありま

す。このようなことから、引き続き行政改革に取り組み、第2期となる行政改革大綱および集中改革プランの策定を進めてまいります。

一般会計歳入予算につきましては、国の地方財政計画や当市における経済の動向などを勘案して見込める額を計上し、歳出予算につきましては、指定管理費削減を進める一方、節減を進めること、補助金の創設や観光事業の再開発経費など大洲市が元気になる対策を講じてまいります。財政の健全化を進めつつ施策の選択と集中を図り、本市の活性化と市民サービスの維持向上に努めるべく、財源の効率的な配分に努めてまいります。

今年度の一般会計予算

教育費

- 学校の耐震化を図る経費です。 3億9,038万円
- 学校給食センターを整備します。 8,655万円
- 幼稚園を運営する経費です。 1億1,672万円
- 市内24公民館、19分館の管理運営経費です。 3億3,151万円
- 図書館の経費です。 8,372万円
- 大洲市体育協会や各種スポーツイベントなどの補助金です。 1,239万円

農林水産業費

- 「愛たい菜」を拠点として、農林水産物の生産振興、ブランド化、情報発信、販売促進、消費拡大などを展開し、地産地消を推進します。 450万円
- I、Jターン者に対し、家賃補助を行い、定住促進を図ります。 48万円
- シイタケ生産の振興を図ります。 1,532万円
- 魚礁の設置や稚魚の放流など水産業の振興を図ります。 2,968万円

消防費

- 消防団活動や設備の維持管理の経費です。 7,136万円
- 消防施設を整備します。 2,019万円
- 防災行政無線を整備します。 1億5,400万円
- 大洲市と内子町で構成する広域消防事務組合への負担金です。 6億6,983万円

土木費

- 市道の新設・改良・維持修繕のための経費です。 5億1,391万円
- 辺地・過疎対策事業として、市道の改良・舗装などを行います。 3億円
- 港湾の改修・局部改良のための経費です。 6,047万円
- 城山公園を整備するための経費です。 1億2,166万円

平成22年大洲市消防出初式

安全を守る 地域の精鋭たち

平成22年大洲市消防出初式

3月7日(日)、大洲市民会館大ホールで、平成22年大洲市消防出初式が開催されました。式には、大洲・長浜・肱川・河辺の各方面の団員や女性消防団員ら、約600人が参加しました。清水市長は、「自らの身を守ってこそ地域を守る活動も可能となるものであり、まずは一人ひとりの防災への心構えと、地域、あるい

は家庭での日ごろの備えが重要です。日々の鍛錬に取り組んでおられるみなさんの士氣ますます盛んなところを目の当たりにし、誠心強く感じると共に、日ごろのご努力ご精進に心から敬意を表します」と式辞を述べました。

この日は雨天のため、屋内での式となり訓練披露は行われませんでした。が、精鋭たちの一糸乱れぬきびきびとした動作は、日々厳しい訓練が積み重ねられていることを強く物語っていました。



▲式で表彰される団員

また式では、消防活動に功績のあった人や、長年にわたり消防団活動を推進してきた団員など約350人に表彰状や感謝状が贈られました。

おめでとーございます

平成22年大洲市

消防出初式受章者

1 消防庁長官表彰

○永年勤続功労章(4人)

- 大洲方面隊 上須戒分団 分団長 青木 信善
- 長浜方面隊 長浜分団 分団長 松岡 昭夫
- 肱川方面隊 隊長 山下 雅英
- 河辺方面隊 植松分団 分団長 本門 智壽

2 日本消防協会会長表彰

○功績章(1人)

- 長浜方面隊 隊長 山本 久雄

○精績章(4人)

- 大洲方面隊 菅田分団 分団長 矢野 正祥
- 長浜方面隊 櫛生分団 分団長 谷井 次治
- 肱川方面隊 子林分団 分団長 三瀬 哲也
- 河辺方面隊 副隊長 中津 博文

○勤続章(13人)

- 大洲市消防団 副団長 白岩 千明
- 大洲方面隊 肱南分団 団員 中野 竹博
- 菅田分団 分団長 矢野 正祥
- 新谷分団 部長 山岡 裕
- 粟津分団 部長 岡田 國典
- 上須戒分団 部長 宇都宮忠美
- 上須戒分団 団員 西川 和宏
- 上須戒分団 団員 西山 茂

3 愛媛県知事表彰

○功労章(8人)

- 長浜方面隊 白滝分団 分団長 和左田壽榮重
- 大洲方面隊 肱北分団 副分団長 渡部 和久
- 大洲方面隊 大川分団 副分団長 久保 壽弘
- 新谷分団 部長 山岡 裕
- 三善分団 副分団長 森井眞喜男
- 長浜方面隊 大和分団 分団長 松田 重義
- 肱川方面隊 大谷分団 分団長 前田 明弘
- 河辺方面隊 大伍分団 副分団長 酒井 勇

4 愛媛県消防協会会長表彰

○功績章(5人)

- 河辺方面隊 副隊長 中津 博文
- 大洲方面隊 新谷分団 分団長 瀧田 晴夫
- 柳沢分団 分団長 中田 眞一
- 長浜方面隊 出海分団 分団長 山口 喜生
- 肱川方面隊 中央分団 分団長 富永 光明

○勤続章(15年以上 21人)

- 大洲方面隊 肱北分団 部長 藤江 裕之
- 肱南分団 団員 泉 秀哉
- 平野分団 団員 上田 伸一
- 南久米分団 団員 梅原 福一
- 菅田分団 班長 富永 郁夫
- 菅田分団 班長 水口 博志
- 大川分団 部長 岩本 洋一
- 大川分団 部長 大元 和信
- 柳沢分団 団員 新 武文
- 柳沢分団 団員 高岡 義定
- 新谷分団 班長 平井 弘一

- 上須戒分団 団員 上田 又文
- 大谷分団 団員 富永 眞二
- 岩谷分団 団員 和氣庄太郎
- 岩谷分団 団員 松田 龍明
- 子林分団 団員 大越 義文

○勤続章(10年以上 33人)

- 大洲方面隊 肱南分団 団員 澤田 正彦
- 肱南分団 団員 西川 肇
- 肱南分団 団員 田口 洋明
- 肱北分団 団員 今藏 敬二
- 肱北分団 団員 田中 英二
- 肱北分団 団員 河野 英一
- 平野分団 班長 菊池 英巳
- 平野分団 団員 北野 修
- 南久米分団 団員 大谷 憲博
- 南久米分団 班長 三好 健二
- 大川分団 団員 上杉 孝治
- 大川分団 団員 櫻田 和教
- 柳沢分団 団員 新山 範人
- 新谷分団 団員 柳本 康夫
- 新谷分団 班長 池田 文雄
- 粟津分団 部長 丸田 善行
- 上須戒分団 団員 白石 裕治
- 上須戒分団 団員 水沼 光明
- 長浜方面隊 長浜分団 団員 赤丸 恵子
- 長浜方面隊 井上 勉
- 喜多灘分団 団員 東 和彦
- 喜多灘分団 班長 竹内 浩二
- 大和分団 団員 石本 卓志
- 大和分団 団員 畝中 朗
- 大和分団 団員 菊地 敏宏

平成22年大洲市消防出初式

大洲方面隊 南久米分団 班長 大谷 和寿
 肱南分団 団員 沖本 宗市
 肱南分団 団員 梅林 努
 肱南分団 団員 松浦 昭憲
 肱南分団 団員 島田 定幸
 肱北分団 団員 仲岡 浩司
 肱北分団 団員 河野 明仁
 肱北分団 団員 和田 晃典
 肱北分団 団員 大野 智宏
 南久米分団 団員 服部 直人
 南久米分団 団員 神山 勝行
 菅田分団 団員 二宮 達夫
 菅田分団 団員 久保 真一
 菅田分団 団員 松本 義男
 大川分団 団員 泉 吉広
 大川分団 団員 城戸 貴義
 大川分団 団員 瀧本 真一
 柳沢分団 団員 石岡 正
 新谷分団 団員 竹田 達也
 新谷分団 団員 河田 光雄
 新谷分団 団員 袖岡 俊宏
 新谷分団 団員 永田 学
 三善分団 団員 山田 健治
 三善分団 団員 矢野 勝

5 大洲市長表彰 (58人)

大洲方面隊 南久米分団 班長 大谷 和寿
 肱南分団 団員 沖本 宗市
 肱南分団 団員 梅林 努
 肱南分団 団員 松浦 昭憲
 肱南分団 団員 島田 定幸
 肱北分団 団員 仲岡 浩司
 肱北分団 団員 河野 明仁
 肱北分団 団員 和田 晃典
 肱北分団 団員 大野 智宏
 南久米分団 団員 服部 直人
 南久米分団 団員 神山 勝行
 菅田分団 団員 二宮 達夫
 菅田分団 団員 久保 真一
 菅田分団 団員 松本 義男
 大川分団 団員 泉 吉広
 大川分団 団員 城戸 貴義
 大川分団 団員 瀧本 真一
 柳沢分団 団員 石岡 正
 新谷分団 団員 竹田 達也
 新谷分団 団員 河田 光雄
 新谷分団 団員 袖岡 俊宏
 新谷分団 団員 永田 学
 三善分団 団員 山田 健治
 三善分団 団員 矢野 勝

○家族内助の功労者感謝状

大洲方面隊 南久米分団 班長 大谷 和寿
 肱南分団 団員 沖本 宗市
 肱南分団 団員 梅林 努
 肱南分団 団員 松浦 昭憲
 肱南分団 団員 島田 定幸
 肱北分団 団員 仲岡 浩司
 肱北分団 団員 河野 明仁
 肱北分団 団員 和田 晃典
 肱北分団 団員 大野 智宏
 南久米分団 団員 服部 直人
 南久米分団 団員 神山 勝行
 菅田分団 団員 二宮 達夫
 菅田分団 団員 久保 真一
 菅田分団 団員 松本 義男
 大川分団 団員 泉 吉広
 大川分団 団員 城戸 貴義
 大川分団 団員 瀧本 真一
 柳沢分団 団員 石岡 正
 新谷分団 団員 竹田 達也
 新谷分団 団員 河田 光雄
 新谷分団 団員 袖岡 俊宏
 新谷分団 団員 永田 学
 三善分団 団員 山田 健治
 三善分団 団員 矢野 勝

6 大洲喜多消防団連合会長表彰

大洲方面隊 南久米分団 班長 大谷 和寿
 肱南分団 団員 沖本 宗市
 肱南分団 団員 梅林 努
 肱南分団 団員 松浦 昭憲
 肱南分団 団員 島田 定幸
 肱北分団 団員 仲岡 浩司
 肱北分団 団員 河野 明仁
 肱北分団 団員 和田 晃典
 肱北分団 団員 大野 智宏
 南久米分団 団員 服部 直人
 南久米分団 団員 神山 勝行
 菅田分団 団員 二宮 達夫
 菅田分団 団員 久保 真一
 菅田分団 団員 松本 義男
 大川分団 団員 泉 吉広
 大川分団 団員 城戸 貴義
 大川分団 団員 瀧本 真一
 柳沢分団 団員 石岡 正
 新谷分団 団員 竹田 達也
 新谷分団 団員 河田 光雄
 新谷分団 団員 袖岡 俊宏
 新谷分団 団員 永田 学
 三善分団 団員 山田 健治
 三善分団 団員 矢野 勝

○勤続章 (32人)

大洲方面隊 南久米分団 班長 大谷 和寿
 肱南分団 団員 沖本 宗市
 肱南分団 団員 梅林 努
 肱南分団 団員 松浦 昭憲
 肱南分団 団員 島田 定幸
 肱北分団 団員 仲岡 浩司
 肱北分団 団員 河野 明仁
 肱北分団 団員 和田 晃典
 肱北分団 団員 大野 智宏
 南久米分団 団員 服部 直人
 南久米分団 団員 神山 勝行
 菅田分団 団員 二宮 達夫
 菅田分団 団員 久保 真一
 菅田分団 団員 松本 義男
 大川分団 団員 泉 吉広
 大川分団 団員 城戸 貴義
 大川分団 団員 瀧本 真一
 柳沢分団 団員 石岡 正
 新谷分団 団員 竹田 達也
 新谷分団 団員 河田 光雄
 新谷分団 団員 袖岡 俊宏
 新谷分団 団員 永田 学
 三善分団 団員 山田 健治
 三善分団 団員 矢野 勝

○規律章 (45人)

大洲方面隊 南久米分団 班長 大谷 和寿
 肱南分団 団員 沖本 宗市
 肱南分団 団員 梅林 努
 肱南分団 団員 松浦 昭憲
 肱南分団 団員 島田 定幸
 肱北分団 団員 仲岡 浩司
 肱北分団 団員 河野 明仁
 肱北分団 団員 和田 晃典
 肱北分団 団員 大野 智宏
 南久米分団 団員 服部 直人
 南久米分団 団員 神山 勝行
 菅田分団 団員 二宮 達夫
 菅田分団 団員 久保 真一
 菅田分団 団員 松本 義男
 大川分団 団員 泉 吉広
 大川分団 団員 城戸 貴義
 大川分団 団員 瀧本 真一
 柳沢分団 団員 石岡 正
 新谷分団 団員 竹田 達也
 新谷分団 団員 河田 光雄
 新谷分団 団員 袖岡 俊宏
 新谷分団 団員 永田 学
 三善分団 団員 山田 健治
 三善分団 団員 矢野 勝

7 大洲市消防団長表彰 (129人)

大洲方面隊 南久米分団 班長 大谷 和寿
 肱南分団 団員 沖本 宗市
 肱南分団 団員 梅林 努
 肱南分団 団員 松浦 昭憲
 肱南分団 団員 島田 定幸
 肱北分団 団員 仲岡 浩司
 肱北分団 団員 河野 明仁
 肱北分団 団員 和田 晃典
 肱北分団 団員 大野 智宏
 南久米分団 団員 服部 直人
 南久米分団 団員 神山 勝行
 菅田分団 団員 二宮 達夫
 菅田分団 団員 久保 真一
 菅田分団 団員 松本 義男
 大川分団 団員 泉 吉広
 大川分団 団員 城戸 貴義
 大川分団 団員 瀧本 真一
 柳沢分団 団員 石岡 正
 新谷分団 団員 竹田 達也
 新谷分団 団員 河田 光雄
 新谷分団 団員 袖岡 俊宏
 新谷分団 団員 永田 学
 三善分団 団員 山田 健治
 三善分団 団員 矢野 勝

平成22年大洲市消防出初式

南久米分団 団員 金城 忠芳	柳沢分団 団員 平尾 哲弥	女性団員 団員 森内 茂美
南久米分団 団員 菊地 辰男	新谷分団 団員 福山 弘	女性団員 団員 鎌田 美貴
南久米分団 団員 二宮 儀博	新谷分団 団員 長田 清孝	女性団員 団員 高澤 朋恵
南久米分団 団員 久保田真克	新谷分団 団員 谷本 和幸	女性団員 団員 平原 由紀
南久米分団 団員 松本 真也	新谷分団 団員 林 宏和	長浜分団 団員 岡 豊
南久米分団 団員 山田 淳	新谷分団 団員 森野 悟志	長浜分団 団員 政所 正明
南久米分団 団員 岡 英司	新谷分団 団員 尾崎 直樹	長浜分団 団員 久保 徹弥
南久米分団 団員 稲田 学	三善分団 団員 大隅 亮平	喜多灘分団 団員 後藤 耕一
菅田分団 団員 崎石 誠司	三善分団 団員 山本 知文	櫛生分団 団員 山下 勝則
菅田分団 団員 矢野洋一郎	粟津分団 団員 藤本 佳史	白滝分団 団員 大塚 薫
菅田分団 団員 東 哲也	粟津分団 団員 大塚 正	白滝分団 団員 大田 章夫
菅田分団 団員 柴田 勝	粟津分団 団員 大塚 勝	白滝分団 団員 恩地 立直
菅田分団 団員 小路 正也	粟津分団 団員 金茂 優	白滝分団 団員 新田 耕士
菅田分団 団員 富永 太一	上須波分団 団員 都築 久志	中央分団 団員 藤川 誠
菅田分団 団員 中野 清喜	上須波分団 団員 田中 秀一	中央分団 団員 岩田 淳司
菅田分団 団員 大門 浩司	長浜方面隊	中央分団 団員 大野 拓也
菅田分団 団員 伴野 米一	女性団員 班長 和左田道江	中央分団 団員 曾根 誠
菅田分団 団員 別宮 雄介	女性団員 班長 丸井 洋子	中央分団 団員 曾根 太志
菅田分団 団員 稲田 礼一	女性団員 班長 松本 貞子	中央分団 団員 山根 吉隆
菅田分団 団員 森 勉哲	女性団員 班長 藤岡 良子	正山分団 団員 土居 俊介
菅田分団 団員 齊藤 裕二	女性団員 班長 渡辺タミ子	正山分団 団員 山田 智巳
菅田分団 団員 谷田 可泰	女性団員 班長 平田由美子	正山分団 団員 黒田 貞夫
大川分団 団員 坂本 章一	女性団員 班長 中嶋加代子	正山分団 団員 瀧野 翔太
大川分団 団員 福樺 眞嗣	女性団員 班長 尾上 礼子	正山分団 団員 片岡 真一
大川分団 団員 河村 健史	女性団員 班長 中野ミサエ	大谷分団 団員 富永 優
大川分団 団員 森内 誠二	女性団員 班長 宮本佐予子	大谷分団 団員 前田 雅弘
大川分団 団員 高本 勇	女性団員 班長 宇都宮郁子	大谷分団 団員 岩熊 佑樹
大川分団 団員 松岡 慶幸	女性団員 班長 菊地 敬子	岩谷分団 団員 谷田 泰亮
大川分団 団員 赤杖 孝司	女性団員 班長 松岡 静子	子林分団 団員 畦崎 雅人
大川分団 団員 村上 徹	女性団員 班長 大石さよ子	植松分団 団員 水本 亀清
柳沢分団 団員 白石 正和	女性団員 班長 向井恵津子	坂本分団 団員 石井 秋彦
柳沢分団 団員 城戸 豊勝	女性団員 班長 大山 浩子	大伍分団 団員 河本 泰
柳沢分団 団員 安永 章	女性団員 班長 久保佳代子	北平分団 班長 壽野 公英
柳沢分団 団員 久保 幸一	女性団員 班長 山尾 悦子	
柳沢分団 団員 宮岡 旭	女性団員 班長 宮本真智子	

たき火による火災の防止

昨年、大洲市で起きた火災の原因で最も多かったのがたき火です。
山や田畑での草焼などが原因での火災が多いようです。

そのほかにも、風の強い日にたき火をしたため、火の粉が飛んで火災になってしまったもの、消火が不十分であったため再び燃えだして火災となったものなど様々な原因があります。

火災に至るまでの経過をたどってみると、火の取り扱いに對する「ちよつとした不注意」が原因となっています。

また、春の行楽シーズンを迎え、山へ入る機会が増え、花見やバーベキューなどで火を使う機会が多くなりますので、次のことに注意してください。

・多量の煙が出ると思われる場合は事前に消防署に連絡しましょう。

《たき火をしている時の注意》

- ・火を消すまで、その場を離れないようにしましょう。
- ・子どもだけでは絶対にたき火をさせないようにしましょう。
- ・火の粉が飛ばないように少しづつ燃やし、着衣着火やけなどなどに注意しましょう。

《たき火が終わった後の注意》

- ・再び燃え出さないよう水をかけ完全に消火しましょう。

《行楽シーズンでの注意》

- ・長い間家を留守にするときは、出かける前に火元の点検をしましょう。
- ・たばこの投げ捨てはやめましょう。

- ・《たき火を始める前の注意》
- ・周囲に燃えやすいものがない場所で行いましょう。
- ・空気が乾燥しているときや、風の強いときは控えましょう。
- ・水バケツ、消火器など消火の準備をしておきましょう。

